

East Japan area

東日本地区 医療職員募集案内

Pharmacist 薬剤師

Radiological Technologist 診療放射線技師

Medical Technologist 臨床検査技師

Registered Dietitian 管理栄養士

Physical Therapist 理学療法士

Occupational Therapist 作業療法士

Speech Therapist 言語聴覚士

Nurse 看護師

安心の地域医療を支える



独立行政法人
地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization

私たちは医療のナビゲーター
新しい希望、夢をつなげる





JCHO とは

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO：ジェイコー）は、平成26年4月1日に、社会保険病院、厚生年金病院及び船員保険病院を統合して設立された、全国57の病院からなる独立行政法人です。

私達は理念の実現のために、5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）6事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療、新感染症対応）の他、地域医療連携や地域包括ケアの推進、および医療人材の育成を重要なミッションと定め、高度急性期医療から介護、健診業務など幅広い活動を行ってきました。また、急速な高齢化が進んでいるなか、住み慣れた地域で療養生活を送り生涯をまっとうできるように支援する「地域完結型」の医療体制の実現に向けて、介護老人保健施設や訪問看護も多くの病院で備えております。

JCHOでは、より良質な医療を効率的かつ持続的に提供できるよう、様々な人材育成に力を入れています。

これからは、全国で約27,000人の医療人材が生み出す知見を活かし、全国の様々な病院群のどこでも、全国レベルの質の高い医療を提供できる人づくりに一層の力を入れて取り組んでいきます。「教育のJCHO」を標榜し、人材育成をさらに強化してまいります。

5疾病

- がん
- 脳卒中
- 急性心筋梗塞
- 糖尿病
- 精神疾患

6事業

- 救急医療
- 災害医療
- へき地医療
- 周産期医療
- 小児医療
- 新感染症対応

理念

Organizational Philosophy

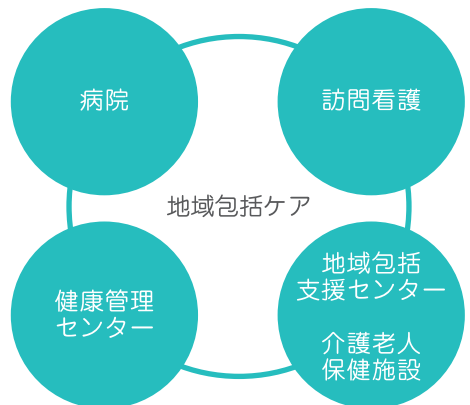
我ら全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

使命

- 地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えます。
- 地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図ります。
- 地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化します。
- 独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行います。

特徴

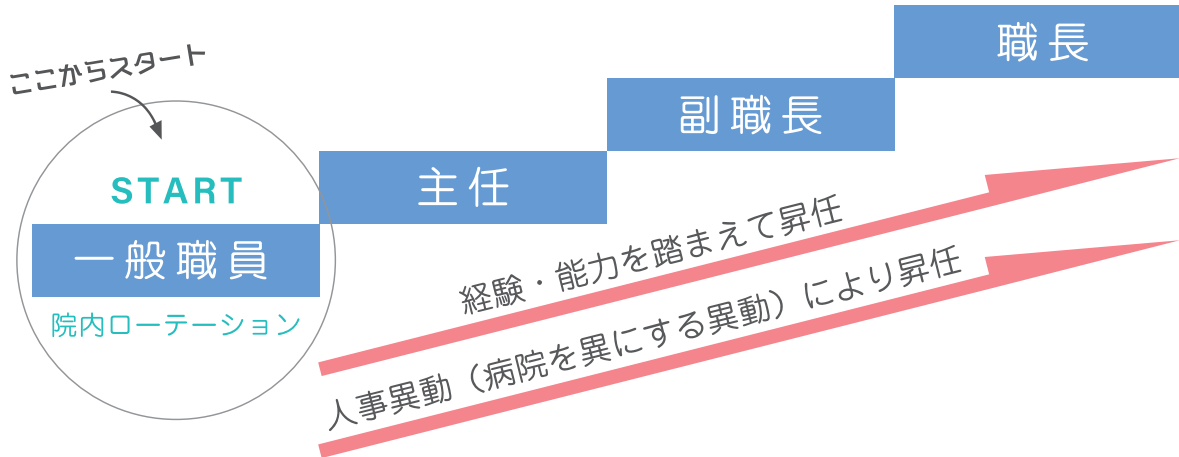
- 全国に広がる病院群で、ナショナルスケールメリットがあります。
(地理的特徴)
- 介護老人保健施設を有し、リハビリテーション体制も充実しており、超高齢社会のニーズに対応するポテンシャルがあります。
(機能的特徴)
- 「急性期医療～回復期リハビリテーション～介護」のシームレスなサービスを提供できるグループとして、時代の要請に応える使命があります。
(使命ある存在という特徴)



キャリアアップ



- 各階層に応じて、本部または地区事務所による研修を実施しています。
- 職種別研修だけでなく多職種交流型研修を実施し、管内の他病院の職員と交流することで多職種と協調して、協働する意識を醸成します。
- 採用病院での勤務だけでは得られない、管内の他病院での特徴ある医療を経験することで、視野の広い医療専門知識を深め、地域医療を支えます。
(異動は各職員の事情等をできるだけ考慮します)



待遇

4年制大学卒業のコメディカル

6年制大学卒業の薬剤師

3年制専門学校卒業のコメディカル

(令和6年4月現在)

入職1年目(例) (地域手当18%、住居手当支給ありの場合)		大卒		専門学校卒
		6年制	4年制	3年制
月給	基本給	218,200	197,200	187,300
	諸手当	102,000	98,000	95,000
賞与(年2回年間4.5月分)		1,021,000	934,000	893,000
年収		5,067,000	4,645,000	4,446,000

※賞与は各病院の経営状況により異なる

- 給与
職員給与規程に基づいて、基本給及び諸手当が支給されます。
また、経常収支が特に良好な場合、年度末賞与が支給されます。
- 昇給
毎年1月1日(昇給額は職務成績により変動)
- 諸手当
通勤手当、住居手当、扶養手当、地域手当 等
- 社会保険
健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険完備、退職金制度有
- 休日・休暇
 - ① 土日、国民の祝日、年末年始(12/29~1/3)
 - ② 4週8休、国民の祝日、年末年始(12/29~1/3)
基本的に①または②となりますが、勤務する病院によって異なります。
 - ③ 特別休暇(夏季、結婚、産前産後、病気、保育時間、介護、忌引等)
- 子育て支援
育児休業：子供が3歳になるまで可能
育児短時間：週19時間25分~24時間35分の範囲で勤務日・勤務時間を選択可能
育児時間：3歳未満の子を養育するために1日を通じて2時間を超えない範囲で取得可能



新たなチーム医療の提案と臨床の場で 安全・安心な薬物療法を提供します



〔多様化するニーズに応え信頼される薬剤師に〕

医療を取り巻く環境が大きく変化する中、チーム医療の一員である病院薬剤師の役割と職能は多様化・拡大の一途をたどっています。JCHO 薬剤師は地域医療のニーズにも応えるため、薬に関わるあらゆる業務に積極的に取り組み、処方提案や副作用対策など医薬品の適正使用を推進して安全で有効な薬物療法を提供しています。

また、JCHO ネットワークとスケールメリットを活用して東日本地区25病院の薬剤師が知識と情報を共有し、個々の能力を最大限に生かした働き易くやりがいのある職場づくりを目指しています。

先輩職員からのメッセージ



船橋中央病院

入職：2012年

私は、注射室調剤・抗がん剤調製、レジメン登録、外来化学療法室での患者指導と、がんに関わる業務に携わっています。

当院は総合病院であり薬剤師業務は多岐に渡ります。入職後は、調剤室・注射室・NICU業務等を学び2年目に病棟配属となります。病棟では様々な診療科（血液内科/呼吸器内科/泌尿器科/眼科/歯科/消化器外科/総合診療科）を経験し、日々新薬が開発されるがん領域に興味を持ち、大学病院での研修にも参加しました。

現在は、「JSHP がん薬物療法認定薬剤師」「JASPO 外来がん治療認定薬剤師」を取得し、専門性を磨くことで、医師や看護師など他の職種に頼りにされる機会が増えてきました。

チーム医療に参加する薬剤師は、ジェネラリストであることに加えて高い専門性を有している必要があります。

様々な仕事にチャレンジする熱意と学ぶ意欲があれば JCHO 病院は最適な環境です。



さいたま北部医療センター

入職：2015年

現在は主に病棟業務を担当しながら、NST 専門療法士として NST 回診や褥瘡回診に同行し、入院患者さんの栄養状態を改善・維持していけるように多職種で協力しながら業務を行っています。

JCHO 病院には規模の違いや専門性の高い特色を持っている病院があります。

私自身も JCHO の他施設で研修をさせて頂いたのですが、病院同士のつながりもあるため意欲があればさらなるステップアップを実現できる環境だと思います。

まずは病院での数多くの業務を経験し、その中で興味を持った分野で活躍できるように認定・専門薬剤師の資格の取得を目指してまいります。



東京山手 メディカルセンター

入職：2022年

私は病院薬剤師1年目で、主な業務内容は内服・注射薬の調剤です。日々の業務の中で、薬に対する知識が深まり、患者さんへの服薬指導に活かすことができ、やりがいを感じています。また、抗がん剤の調製も任されるようになりました。

薬剤師は新人からベテランまで幅広く在籍しています。先輩方とお話するだけで勉強になることばかりです。1年目でわからないことも多いですが、先輩方の温かいサポートのもと、成長を実感しながら日々頑張ることができています。チーム医療の一員としての自覚を持ち、知識や経験を積み、自己研鑽を継続していこうと考えております。



仙台病院

入職：2023年

私は1年目の病院薬剤師で、今年度は厚生労働省が行う卒後臨床研修のプログラムに則り業務を行っています。4-8月までは内服薬・注射剤の調剤業務・抗がん剤や高カロリー輸液のミキシングを主に行い、セントラル業務で必要となる知識や業務を身につけます。

9月から翌年の1月では、全8病棟の各病棟担当薬剤師と共に2週間ほど病棟業務に同行しています。また、手術室担当の薬剤師と共に手術室業務を2週間ほど同行する予定です。

調剤しているだけでは分からない患者様の状態や、患者様の問題点を先輩の薬剤師と共に解決していくことでジェネラリストとしての知識を身につけることができます。1年目から病院薬剤師として様々な経験を積むことができる環境で一緒にやりたい薬剤師を目指していませんか？

採用実績

東京薬科大学 昭和大学 東邦大学 明治薬科大学 城西大学 星薬科大学 北里大学 帝京平成大学 帝京大学 昭和薬科大学 横浜薬科大学 日本大学 東京理科大学 北陸大学 高崎健康福祉大学 東北医科薬科大学 慶応義塾大学 北海道医療大学 新潟薬科大学 武蔵野大学 国際医療福祉大学 金沢大学 富山大学 名城大学 神戸薬科大学 城西国際大学 日本薬科大学 静岡県立大学 岩手医科大学 摂南大学 近畿大学 九州大学 青森大学 長崎大学 福岡大学 北海道科学大学 など



医用画像に最大の情報量を与え 医療被ばくの最適化に力を注ぎます



放射線部門には、撮影検査で得られた画像を読影し、病変・病態を診断する画像診断や、血管内から病変部にアプローチして検査と治療を行う血管内治療、高エネルギー X 線・電子線を照射して行う放射線治療や、ラジオアイソトープを投与して治療を行う RI 内用療法などがあります。勿論、ベーシックな X 線単純撮影・造影剤を用いた X 線透視撮影などもありますが、どの検査も技術革新により必要最小限の被ばくで最大限の効果を得る事が求められています。

継続・継承されながら、常に新しい技術や治療が取り入れられる医療現場では、そこで働く診療放射線技師にも、知識・技術のアップデートが求められます。最良の道は、継続して行う事が大切だと思います。貴方のキャリアを後押しできる組織力が JCHO にはあります。是非、一緒に働いてみませんか。

先輩職員からのメッセージ



横浜保土ヶ谷中央病院

入職：1995年 (診療放射線技師長)

終わりの見えないコロナの波瀾の中、社会では対策を講じて少しずつ規制の緩和が進み、息苦しさから開放されたように見えます。しかし医療の現場では絶え間なくコロナ陽性者が来院し、病院職員は感染対策に気を配りながら日夜診療を続けています。我々診療放射線技師もその中でコロナ陽性や重症化のサインを見逃さない様に自身の感染にも細心の注意を払って撮影を行っています。自分は診療放射線技師長として感染対策会議等、事務的な仕事が増える中、限られた時間でも現場に目をかけ経験してきた事を教えて、負担を少なくするコツや誰もが質の高い写真が撮れるように研鑽し合って進化する部門を目指しています。また、撮影や時間だけに捉われず、患者さんを良く観察して、声のかけ方一つでも安心を与えるという事を実践して伝えていきます。患者さん一人一人に大切な人や今後の人生があると思いますので、医師が良い治療を行えるように情報の多い画像の提供を目指しています。

相模野病院

入職：2003年 (主任診療放射線技師)

2003年に診療放射線技師となり、早20年が経ちました。その間、2回の転勤とライフステージの変化を経験し現在に至ります。

転勤によって規模や特色の異なる3施設で働きましたが、それぞれ仕事内容や働き方に違いがあり興味深く面白いなと感じています。どの施設でも共通して資格取得やスキルアップの為に勉強会参加などが積極的に行われており、変化の早い放射線技術に遅れを取らないよう努力しています。

個人としては様々なライフステージの変化がありました。規模の大きな組織で福利厚生が整っているため、出産・育児・療養を経て個人のキャリアを継続したまま職場復帰することができました。職場のスタッフにも恵まれ、優しく、時には厳しくお互いに切磋琢磨しながらここまでやってこれたと思っています。

これからも感謝の気持ち忘れず、頂いた恩は次の世代へ返せるよう自身のスキルを向上させ有意義な技師人生を送りたいと思います。

埼玉メディカルセンター

入職：2020年 (診療放射線技師)

私は診療放射線技師になってもうすぐ3年目になります。当院では入職して半年で当直を1人で行うため、一般撮影、CT、緊急性の高いMRIなどは最低限撮れるようにならなければなりません。そのため、早い段階から様々なモダリティに触れることができます。半年の間で当直業務を覚えるのは大変ですが、先輩方がサポートしてくださるため安心して当直に臨めました。また勉強会、研究発表、認定取得なども積極的に行っているため、自分の能力を高めることができます。私もJCHOグループでの学会に参加させていただき、学会の雰囲気や他施設のことを知ることができ、勉強になりました。仕事のモチベーションにも繋がりました。

現在は当直にも慣れ、各モダリティの専門知識を高めています。後輩も入ってきて、先輩としての自覚や責任も感じるようになりました。毎日があっという間ですが充実した生活を送っています。これからも診療放射線技師としての知識を高め、医療に貢献していきたいと思っています。

採用実績

帝京大学 群馬県立県民健康科学大学 駒澤大学 つくば国際大学 東京都立大学 日本医療科学大学 北里大学 茨城県立医療大学
国際医療福祉大学 鈴鹿医療科学大学 杏林大学 群馬パース大学 純真学園大学 藤田医科大学中央医療技術専門学校
城西放射線技術専門学校 東京電子専門学校 専門学校東洋公衆衛生学院 など

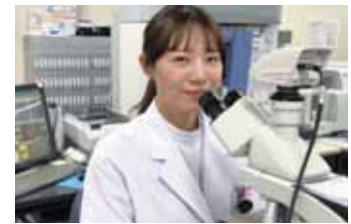
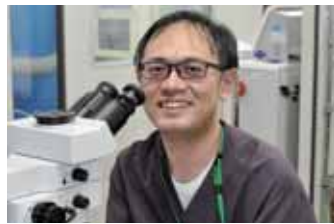


『より正確により迅速に』を基本に日々進歩する医療に向けデータ発信をします



日々進歩する医療とともに検査技術は格段の進歩を遂げました。診断、予後および治療についての決定は、しばしば臨床検査のデータと解釈に基づいて行われます。このような臨床検査データを「より正確により迅速に」を基本にJCHOの臨床検査部門では、情報の発信に努めています。また、臨床検査技師の業務は検査室内だけでなく、採血業務、内視鏡業務、体外受精、栄養サポートチーム(NST)、感染制御チーム(ICT)、糖尿病療養指導、認知症など、多職種との連携を密に医療の質向上を目指しています。

先輩職員からのメッセージ



船橋中央病院

入職：1991年

【臨床検査技師長】

私が入職・新人の頃は「迅速かつ正確なデータの報告をする臨床検査技師」を目指していました。病院内の裏方的存在の検査科で、患者さんと接する事が少ない業務でした。しかし現在の臨床検査技師は、生理機能検査以外にも採血業務にて患者さんと接点が多くなりました。多職種の職員との連携や病院全体の医療安全や感染症対策、地域連携などの委員会会議に参加し「地域医療・チーム医療・病院での臨床検査技師の役割」を考える毎日を過ごしています。当院は医師・看護師の業務改善対策である「タスクシフト」の話し合いも行われており、これから益々業務内容が増えて臨床検査技師の知識は「広く・深く」が必要になります。後輩技師には、チーム医療の一員としてスキルアップのために、自身の目指す臨床検査技師となるよう認定資格の取得を指導していきたいと思っています。

当機構の病院は、施設毎に特徴があり、転勤制度もあるため、いろいろな施設を経験することができ、キャリアアップを図ることが可能です。

群馬中央病院

入職：2010年

【細胞検査士】

病理検査を主に担当し、病理組織標本作製、細胞診断、病理解剖などを行っています。当院は、急性期医療はもちろんのこと、健診にも注力しており、併設された健診センターで採取した細胞診検体を診断し、精密検査対象者を病院の診療科へ誘導しています。また、診療科にて組織生検や手術が実施された際には、組織標本作製し、時には遺伝子検査も実施し、正しい病理診断につなげています。医療現場は日進月歩の進化を続けており、対応するために最新の知識と技術の習得が不可欠です。病理検査業務は、患者さんに接する事は少ないですが、勉強会や学会への参加、細胞検査士などの専門資格を取得することで、自信を持ってカンファレンスへの参加や医師への提案ができ、間接的に医療の質の向上に貢献できていると感じています。

健診から急性期まで一貫した医療を提供できる施設は数少なく、医療人として魅力的な職場かと思っています。皆さんと働けることを楽しみにしています。

東京新宿メディカルセンター

入職：2022年

【臨床検査技師】

現在は血液検査を主として、採血業務、夜勤業務などを行っています。入職して約1年、まだまだ経験不足なことも多いですが、できるようになることが増えるたび自信に繋がっています。

担当している血液検査では、データの確認や機械のメンテナンスなどを行っています。測定はほぼ機械が行っていますが、機械が正しい結果を出せるよう管理することも臨床検査技師の仕事の一つだと思います。機械のメンテナンスや精度管理をしたり、検体の状態やデータを一つ一つ確認したりすることで迅速に正確な結果を返すよう心がけています。

今後はさらに知識と経験を積み、認定資格の取得を目指そうと考えています。

チーム医療やタスクシフトにより臨床検査技師の業務の幅は広がっています。患者さんの検査や治療に様々な形で関わる機会が増えていく中で、検査室に留まらず色々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

採用実績

麻布大学 北里大学 杏林大学 群馬大学 群馬パース大学 熊本保健科学大学 神戸常盤短期大学 国際医療福祉大学 埼玉医科大学 埼玉県立大学 女子栄養大学 大東文化大学 千葉科学大学 帝京大学 帝京平成大学 桐蔭横浜大学 東京工科大学 鳥取大学 弘前大学 文京学院大学 北海道大学 湘央医学技術専門学校 昭和医療技術専門学校 西武学園医学技術専門学校 専門学校東洋公衆衛生学院 大東医学技術専門学校 東京電子専門学校 福島県立総合衛生学院 国際医療専門学校(旧) 東武医学技術専門学校 など



『栄養に優る良薬なし』プロとして チーム医療の中心となり活躍します



管理栄養士による早期栄養介入が、疾患の回復や治療に影響を及ぼすため、チーム医療の中で管理栄養士の活躍が期待されています。

JCHOでは栄養療法の最新情報を得て、各疾患に対応できるよう様々な認定資格の取得を推進しています。栄養サポートチーム（NST）の一員となるため、NST 専門療法士や静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士の他、日本糖尿病療養指導士（CDEJ）やがん病態栄養専門管理栄養士など、チーム医療に参画するために必要な資格を取得し、多職種で連携しながら経口摂取だけでなく、経静脈・経腸栄養も含めた総合的なプランを提案できる栄養のスペシャリストを一緒に目指しましょう。

先輩職員からのメッセージ



東京蒲田医療センター

入職：2005年

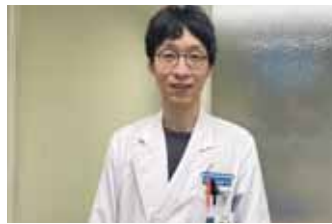
現在は、透析と外来の栄養指導を担当しています。病院管理栄養士は、給食管理・栄養指導・栄養管理など幅広い業務を行います。

栄養管理では、患者さんの栄養状態を維持、改善するために病態や嚥下機能、嗜好などを考慮し一人一人に合わせた食事内容の調整を行っています。

栄養指導では、患者さんの病態や年齢、生活スタイルなどに合わせた指導が必要になります。

食事は生活の中で欠かせないものなので、いかに継続していけるかを考えながら寄り添った指導をするよう心掛けています。難しいことも多いですが、管理栄養士間や多職種で協力しながら多くの患者さんと関わることで学べることは多く、何より患者さんの笑顔が見られることによりやりがいを感じます。

JCHOは規模の異なる病院が多数ありそれぞれ特徴も違うため、異動や交流により更に視野を広げスキルアップを目指すこともできます。最初は悩むこともあると思いますが、先輩達がバックアップするので一緒に頑張りましょう。



東京新宿メディカルセンター

入職：2009年

現在、NST 業務を担当しています。低栄養や栄養補給方法が課題となる患者さんと関わる機会が多く、安全かつ十分な栄養をお届けするにはどうすればよいか日々奮闘しています。

「食べる」という行動一つとっても、体調や精神状態、習慣や味の好み、動作や姿勢、咀嚼嚥下機能といった様々な背景から評価することが大切だと感じます。栄養管理においても患者さんを中心に各分野の専門家である医療スタッフが療養の様子を多面的に評価・共有することは、個人では見えていなかった課題や解決策が柔軟に導き出せる強みになります。

状態が安定しないときには食事量や充足率が少ないことに歯痒い思いを抱きますが病態の底から立ちあがる兆しを見極め、介入のタイミングを見逃さないように努めています。

栄養は、これまでの生活はもとより治療や、その後の日常に続く普遍的な基盤となる分野だと思います。誰しもが馴染み深い栄養のプロフェッショナルとして力を発揮できる職場です。



さいたま北部医療センター

入職：2019年

現在、私は主に給食管理、病棟業務および外来栄養指導に携わっています。

病院食は入院中の楽しみの一つとしての役割と栄養指導の媒体としての役割があります。病院食は食べていただくことが重要なので、衛生面や味付けだけではなく盛り付けや食器にも配慮し、また季節の食材や行事食も取り入れています。患者さんから「退院後の食事の参考になった」、「減塩のポイントがよくわかった」などといった言葉をいただき栄養管理は給食管理との両輪であると感じています。

病棟の栄養管理と外来指導では患者さんの病態も多岐にわたり自分の経験不足を感じることもありますが、上司や先輩からアドバイスをいただきながら患者さんに寄り添った指導を実践できるよう努めています。また今年度は自己研鑽として資格取得にも挑戦しています。まだまだこれから知識を深め、経験を積み業務に生かしていきたいと思っています。

採用実績

城西大学大学院

関東学院大学 相模女子大学 実践女子大学 昭和女子大学 城西大学 女子栄養大学 高崎健康福祉大学 東京家政大学 東京家政学院大学 東京農業大学 日本女子大学 宮城学院女子大学 など

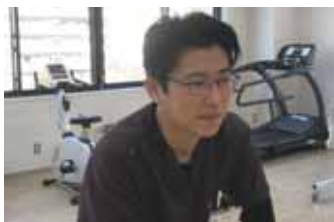
理学療法士 Physical Therapist
 作業療法士 Occupational Therapist
 言語聴覚士 Speech Therapist



JCHOの理念にある「安心して暮らせる地域づくりに貢献します」は、「リハビリテーション」の理念そのものです。

- 理学療法士：機能回復のプロフェッショナルが地域のニーズに応えます。
 運動器、心大血管、脳血管、呼吸器、がんなど様々な疾患を抱える患者さん、新生児から高齢者まで、心身の機能の回復を必要とする患者さんのニーズに応える認定PT・専門PTが多く在籍しています。一緒に学び、一緒に働きましょう！
- 作業療法士：日常生活動作のスペシャリストが心と身体をサポートしています。
 急性期や回復期のみならず、地域包括ケア病棟や介護老人保健施設、在宅でも活躍できるスペシャリストが多く在籍しています。ハンドセラピーなどの専門分野を充実させた病院も！
- 言語聴覚士：言語療法から摂食嚥下まで多くの専門性を活かせる場面で必要とされています。
 近年、言語聴覚士はチーム医療（NST）での摂食嚥下が注目され、内科や耳鼻咽喉科などの医科のみならず、歯科・口腔外科との連携も重要視されています。従来言語聴覚療法はもちろんのこと、その専門性を活かした幅広い分野での活躍が期待される職種です。

先輩職員からのメッセージ



さいたま北部医療センター

入職：2009年 (理学療法士長)

【PT部門管理者の立場から】

JCHOは、急性期から回復期、そして維持期と幅広い分野で、リハビリテーションを通して人と関わる事が出来る職場です。また、自分のスキルアップや目指したい分野があれば、JCHO内での異動で成すことが可能で、転職する必要がありません。

多くの方は、職場環境が気になるのではありませんか？新卒生や経験の浅い方が、不安を持ちながら働くことにならないよう、基本的なことから先輩スタッフがサポートします。経験者は、スキル向上やキャリアアップできるようにフォロー体制を敷いています。

全国各地（57病院26老健施設）にあることを強みにJCHO学会といった学術的な取り組みもあり、横の繋がりを持つことも可能です。また、各種認定や資格の取得、自己研鑽に対しては一部補助を受けることができます。

皆さん、そんなJCHOで一緒に働いてみませんか？まずは施設見学からでも！

湯河原病院

入職：2011年 (作業療法士)

【OTの立場から】

湯河原病院の特色として、急性期・回復期・地域包括ケア病床を有していることに加え、介護保険事業を展開しています。現在、私は訪問リハビリに携わっています。町では高齢化が進み山坂が多い環境に加え、病気や怪我により従来の生活が難しくなる方が多く、在宅生活が円滑に送れるように様々な視点からリハビリテーションに取り組んでいます。役割として、今後介護保険サービスを利用される方に関する情報収集や職員への情報提供およびマネジメント依頼などを行い、様々な職種と情報共有を行いながらシームレスな移行を多職種で協業し取り組んでいます。他職種間で気兼ねなく情報共有し、チームで支援出来る事がとても良い所であると感じています。

JCHOではキャリアアップを目的とした異動があります。自身が所属している病院だけでなく他施設を巡ることにより、専門的な質を高めることが魅力の一つです。是非一緒に働いてみませんか？

うつのみや病院

入職：2019年 (言語聴覚士)

【STの立場から】

うつのみや病院は、急性期・回復期病棟があり、敷地内に介護老人保健施設を有しています。そして地域に密着している病院であることが特徴のひとつです。地域の方々が安心して生活を送れるように多職種で情報共有、コミュニケーションを取りながら支援を行なっております。

私は回復期リハビリテーション病棟で、脳血管疾患や廃用症候群の方々を対象に4年間の臨床を行なってきました。退院を見据えた関わりやその方の生活背景なども考慮しながら介入することは難しいと感じる事があります。しかし、経鼻胃管を抜去し3食経口摂取を獲得して自宅退院されたり、職場復帰された姿を見届けられたときには喜びを感じます。

今後も多職種の方々と協力しながら患者さんの気持ちに寄り添ったりリハビリ、支援ができる言語聴覚士を目指していきたいです。みなさんも私たちと一緒に地域の方々に最も近い存在として支援ができるJCHOで働いてみませんか。

採用実績

国際医療福祉大学 群馬大学 帝京平成大学 杏林大学 健康科学大学 社会医学技術学院 東京医療学院 医学アカデミー
 東京衛生学園 首都医校 など



私たちの看護の理念は『地域住民の幸福な生活を支える看護』です



東京高輪病院

「チーム医療・介護のキーパーソン」として疾病の予防、急性期から回復期リハビリテーション、訪問看護、在宅療養まで幅広い看護の現場で活躍しています。『看護職者としての自律と成長をめざして学び続ける』を教育の理念とし、看護師キャリアラダーを活用して個々の成長を支えます。また、本部や地区事務所では様々な研修を開催し、時代のニーズに合った質の高い看護を提供できる人材の育成に取り組んでおり、JCHOの特色の一つである、特定行為研修の指定教育機関として多くの研修修了者も誕生しています。一人ひとりのライフスタイルに合った進む道、輝ける場所があるのがJCHOの看護職の魅力です。一緒に地域医療を支える看護職を目指しましょう！

先輩職員からのメッセージ



千葉病院

入職：2003年 (看護師長)

2022年度より教育担当師長を拝命しました。現在のコロナ禍において、臨床実習が少なく看護技術やコミュニケーションに不安を抱えている方も多いと思います。そのため当院の新人看護師の教育体制は、入職後から3か月程度ローテーション研修を経験し、集中的に基礎看護技術などの土台作りを行ったうえで配属部署を決定しています。

私は、教育担当師長として、患者さんが求めるニーズを理解し、思いに寄り添える看護が提供できる看護師の育成に努めています。看護技術だけでなく、ニーズを捉えて実行する力が大切だと考えているからです。当院では、この力を養うために、キャリアラダーを活用した教育体制を整えています。すべての先輩看護師が指導者として皆様を支援します。

同じ看護を追求する仲間として共に学び、共に成長できる職場です。新たな環境でスタートする大切な時期を一緒に過ごしましょう。皆さまにお会いできることを楽しみにしています。



相模野病院

入職：2020年 (看護師)

私は循環器に興味があり、循環器病棟を希望し配属になりました。初めての病棟での勤務はとて緊張しましたが、先輩方が優しく声を掛けてくださり、緊張がほぐれたのを今でも覚えています。現在は、プリセプターとして後輩たちが不安にならないようにかかわるよう心がけ、新人看護師と共に患者さんの個性に合わせた看護を考え、楽しく働いています。

プライベートな話になりますが、私には6歳になる娘がいます。始めは子育てと仕事を両立する不安もありましたが、ワークライフバランスを親身になって考えてくれる師長や先輩方に支えられて、子育てしながらでも安心して働くことができています。

看護という奥が深いものにまだまだ学ぶことは多いですが、ここなら安心して学べる環境だと思います。

これから入職するみなさんも緊張しながらも、様々な経験をし、沢山学んで行くのだと思います。とてもあたたかい先輩方が沢山いる職場なので安心して入職してきてください。



東京山手メディカルセンター

入職：2022年 (看護師)

私は卒後、看護師としての基盤を作るために、多数の診療科目を構えており、様々な症例を経験できる病院を選択したいと思いました。認定看護師も多く在籍しており、十分な環境が整っていると考える当院の手術室を希望しました。

手術室では、状況を見て先を予測しながら「今、何が必要なか」を考える力を習得することができると感じました。さらに多数の診療科があるため、幅広い知識を身につけることができ、専門性を高めながらスキルアップできる素晴らしさを実感しました。

定期的に行われる新人研修では、新人育成委員会の先輩看護師から、より実践に近い形で指導して頂けます。グループディスカッションや演習を通して、学生時代よりも掘り下げた内容の技術を身につけることが出来ました。技術に自信のない1年目でもこのような教育体制があることで確実な手技を会得することが出来ました。

信頼できる先輩や同期と協力し合える環境で、患者さんと向き合って看護を提供できるよう努力しています。

採用実績

高崎健康福祉大学 上武大学 西部文理大学 東都大学 埼玉県立大学 城西国際大学 東京医療保健大学 山梨県立大学 栃木県立衛生福祉大学 報徳看護専門学校 山王看護専門学校 東京都立荏原看護専門学校 東京都立広尾看護専門学校 聖灯看護専門学校 横浜実践看護専門学校 など



採用の流れ

Recruitment Schedule



薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師
管理栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

上記職種は東日本地区事務所にて一括採用を行っています。

01 | 応募について

東日本地区事務所ホームページの各職種募集要項をご確認いただき、以下まで必要書類を送付してください。

〒108-0074 東京都港区高輪3-22-12

独立行政法人地域医療機能推進機構 東日本地区事務所 医療課 採用担当 宛

02 | 登録選考試験

試験の合格者を採用候補者名簿に登録し、その名簿の中から採用者を選抜する制度です。登録選考試験の詳細及び日程については、東日本地区事務所ホームページの募集要項をご確認ください。

03 | 合格通知の発送

登録選考試験の結果により合格者を決定し、採用候補者名簿に登録します。登録者には合格通知を発送します。

04 | 内定通知の発送

採用候補者名簿の中から、順に欠員の生じた施設や増員する施設に配属先を決定し、採用内定通知を発送します。

05 | 採用

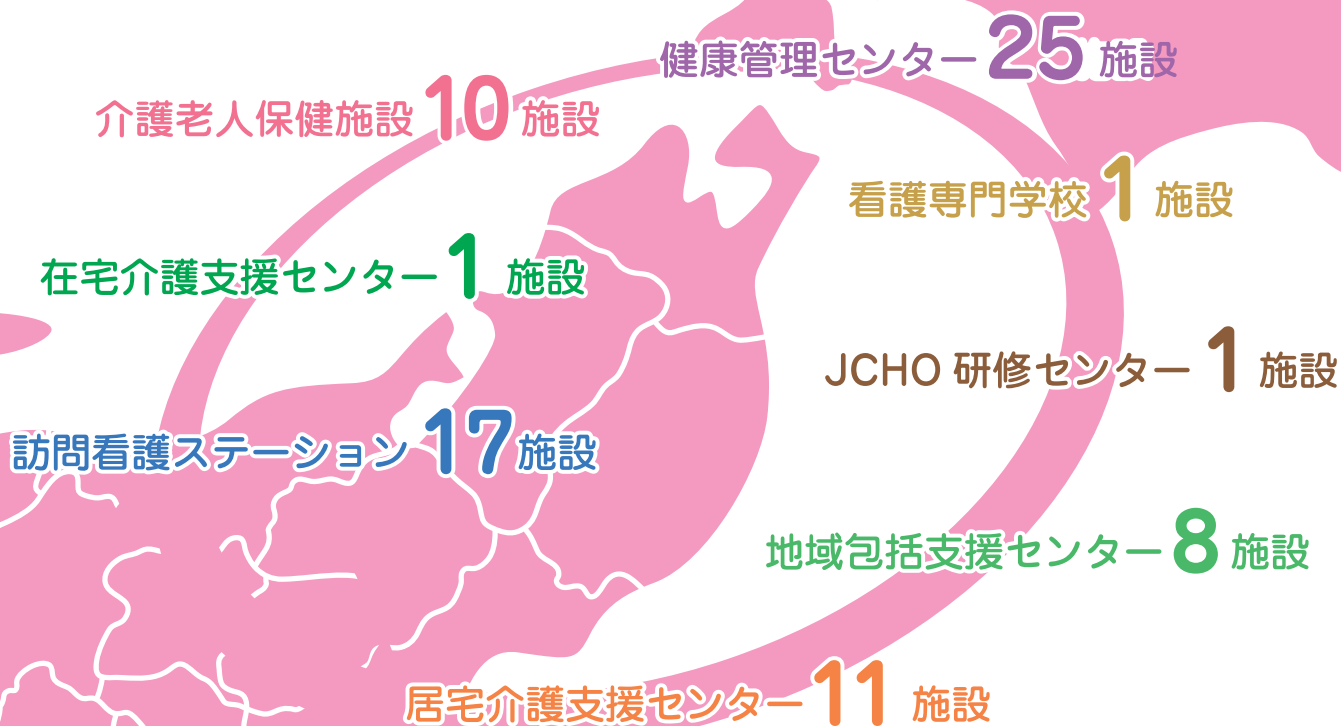
JCHO グループの一員として配属先施設にて、地域医療に貢献していただきます。

看護職員は各施設にて採用を行っています。

★病院見学・インターンシップについては、全職種各施設へお問い合わせください。
採用試験・インターンシップ・病院見学会に関する情報は、各施設のホームページをご覧ください。

東日本地区 施設一覧マップ

1道1都10県25施設



支えてほしい大切なあなたの地域

北海道

- ①北海道病院
- ②札幌北辰病院
- ③登別病院

宮城県

- ④仙台病院
- ⑤仙台南病院

秋田県

- ⑥秋田病院

福島県

- ⑦二本松病院

栃木県

- ⑧うつのみや病院

群馬県

- ⑨群馬中央病院

埼玉県

- ⑩さいたま北部医療センター
- ⑪埼玉メディカルセンター

千葉県

- ⑫千葉病院
- ⑬船橋中央病院

東京都

- ⑭東京高輪病院
- ⑮東京新宿メディカルセンター
- ⑯東京山手メディカルセンター
- ⑰東京城東病院
- ⑱東京蒲田医療センター

神奈川県

- ⑲横浜中央病院
- ⑳横浜保土ヶ谷中央病院
- ㉑相模野病院
- ㉒湯河原病院

山梨県

- ㉓山梨病院

静岡県

- ㉔桜ヶ丘病院
- ㉕三島総合病院

施設紹介

附属施設

老

介護老人保健施設

訪

訪問看護ステーション

居

居宅介護支援センター

地

地域包括支援センター

学

看護専門学校

健

健康管理センター

在

在宅介護支援センター

1 北海道病院

老 在 健

〒062-8618
北海道札幌市豊平区中の島1条8-3-18
TEL 011-831-5151



[病床数] 358床
介護老人保健施設 100床
[宿 舎] 有 (38室)
[保育所] 有



アクセス/最寄駅

地下鉄「中の島駅」～じょうてつバス～「ジェイコー病院前」
下車徒歩1分
市電「幌南小学校前停」から徒歩10分

病院の特徴

当院は札幌市南部の豊平河畔にあり、健康管理センターと老健施設を併設した、急性期医療を担う病院です。地域の中核病院として、地域医療支援病院、北海道がん診療連携指定病院、地域周産期母子医療センターなどの指定・認定を受け、地域の人々に質の高い医療を提供し、未来の地域医療を考えながら、職員の専門力とチーム力を結集し、地域から信頼される病院を目指しています。敷地内には1DKの職員宿舎があり、自動車での通勤者のための広い駐車場も完備しています。また、病院敷地内には院内保育園（さくら保育園）が、お子さんが病気の回復期にあり集団保育が困難な特などに利用できる「子どもデイサービスセンター」もあり、子育てのサポートも充実しています。ワークライフバランスを推進し、患者中心の医療を高いレベルの専門性に基づいたワンチームとして、職員一同、喜びと誇りを持って医療に取り組んでいます。

2 札幌北辰病院

健

〒004-8618
北海道札幌市厚別区厚別中央2条6-2-1
TEL 011-893-3000



[病床数] 276床
(うち29床地域包括ケア床)
[宿 舎] 有 (単身者用30戸 (1R、1DK)、世帯用12戸 (3LDK))
[保育所] 病院敷地内有



アクセス/最寄駅

市営地下鉄東西線「新さっぽろ駅」9番出口敷地内直結

病院の特徴

当院は札幌市厚別区の「新さっぽろ」にある区内唯一の公的病院です。23診療科と臓器・疾患別の専門外来を有し幅広い医療を提供しています。早くから総合診療科を開設しており複数疾患の対応や救急車対応等で総合医が活躍しています。北海道がん診療連携病院の指定を受ける等、がん診療に力を入れており、内科系・外科系診療科が相互に連携し手術、抗がん剤治療を行っています。また、近年は地域の高齢化へ対応する為、地域包括ケア病棟でレスパイト入院や在宅療養施設の後方支援、総合医の訪問診療や看護師の退院後訪問など在宅医療にも注力しています。新さっぽろは地下鉄、JR、バスの交通アクセスに優れ、駅周辺には大規模商業施設やホテルが整い利便性の高い地区です。当院へのアクセスも地下鉄出口が敷地内にあり非常に便利。また、現在新札幌地区は大規模な再開発事業が展開され、商業施設、ホテル、学校の新設など、人の集まる街へ変貌を遂げる最中であり、当院も地域医療の要として、ますますその役割が期待されています。

3 登別病院

訪 居 地 健

〒059-0598
北海道登別市登別東町3-10-22
TEL 0143-80-1115



[病床数] 110床
[宿 舎] 世帯用 (3LDK)、単身用宿舎 (ワンルーム)
[保育所] 有 (8か月以上～就学前)



アクセス/最寄駅

車通勤可・職員用駐車場有
登別駅下車徒歩8分、バス停「汐見坂」下車徒歩2分

病院の特徴

当院は、地域における基幹的な公的病院として、地域医療を担っているとともに、近隣市町の多くの患者さんの多様なニーズに応えています。特にリハビリテーションの分野においては、地域で先駆的な役割を果たしております。令和2年4月に登別温泉街からJR登別駅に程近い場所に新築移転しました。急性期の患者さんの受入れを強化するとともに、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病床、訪問看護ステーションを運営し、地域の診療所・病院等と連携して地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。地域にこれからも必要とされる病院であり続けるため、医療ニーズを常に把握しつつ、予防から急性期、回復期、在宅医療までシームレスに医療・介護の提供を行っています。

4 仙台病院

健

〒981-3281
宮城県仙台市泉区紫山2丁目1-1

TEL 022-378-9111

[病床数] 384床
[宿舎] 無
[保育所] 有



アクセス/最寄駅

JR・地下鉄駅「仙台駅」より宮城大学線「JCHO 仙台病院」下車
地下鉄駅「泉中央駅」より泉パークタウン線「JCHO 仙台病院」下車

病院の特徴

当院は71年の歴史を持つ仙台北部地域を代表する総合病院として、地域の安心を生み出す灯台のような病院を目指しています。

令和3年5月には新病院に移転し、大規模災害にも耐えうる建物と持続的診療が可能なライフライン設備や最新の医療機器にて、遅延なき医療を可能としました。

また、地域の医療需要に応えるだけでなく、県内トップの腎・泌尿器疾患の治療、全国各地より求められる仙腸関節治療、腎移植においては東北地方有数の症例数を誇っています。

かつ、特殊治療を含んだ21の診療科と高度な治療を可能とする6つのセンターを備え、併設される健康管理センターと連携し、地域住民の健康増進を図っております。

更に近年では宮城大学と「包括連携協力」を締結し、人材教育活動のほか、学者と共に地域の方々への健康に寄与する活動を行っております。

私たちは何より患者さんに満足いただける医療体制の充実を目指して、職員一丸となって良質で安全な医療を提供し続けます。皆様とともに・・・

5 仙台南病院

老訪居健

〒981-1103
宮城県仙台市太白区中田町字前沖143番地

TEL 022-306-1711

[病床数] 199床
介護老人保健施設 100床
[宿舎] 有
[保育所] 無



アクセス/最寄駅

JR 南仙台駅東口仙台市営バス JCHO 仙台南病院入口下車（徒歩5分）
JR 南仙台駅東口仙台市営バス 壇場下車（徒歩6分）

病院の特徴

仙台南病院は仙台市の最南部に位置し、仙台市副都心である長町地区、名取市にも近く、病院の南側には日本の原風景ともいえる田園が広がり、東部には太平洋を望むことができます。四季折々の変化で、患者さんはもちろんのこと職員にとっても癒しの眺望となっています。

標榜診療科として、内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科、産婦人科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科を有し、消化器疾患、循環器疾患、糖尿病、内分泌甲状腺疾患、外科・整形外科疾患、リハビリテーションなど日常臨床で頻度の高い疾患を中心に最新の医療を提供しています。また、健康管理センター及び介護老人保健施設を併設し、疾患の予防から診療、介護、生活支援までを一貫して提供しています。

また、健康管理センター、訪問看護ステーション及び介護老人保健施設を併設し、疾患の予防から診療、介護、生活支援までを一貫して提供しています。当院は、病院の医療資源をフルに活用し、地域包括ケアの要の病院として地域に貢献します。

6 秋田病院

老訪居地健

〒016-0851
秋田県能代市緑町5-22

TEL 0185-52-3271

[病床数] 163床
介護老人保健施設 100床
[宿舎] 有
[保育所] 無



アクセス/最寄駅

JR 奥羽本線 東能代駅より タクシー約15分
JR 五能線 能代駅より 徒歩約10分

病院の特徴

当院は、北には世界遺産の白神山地、西には日本海に沈む夕日が美しい、秋田県北西部の能代市中心部に位置する病床数163床の二次救急指定病院です。病院の他、附属介護老人保健施設、健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、能代市本庁地域包括支援センター、病児保育室を有し、予防から急性期、回復期、在宅、そして看取りまで、地域包括ケアの要として地域に必要とされる医療・介護を提供しています。

大塚院長のモットーである「風通しのいい職場づくり」「人を育てる＝次世代を育てる」をスタッフ全員が目指し、職員一人ひとりが笑顔で働くことのできる職場環境となっております。

病院理念「安全で安心できる質の高い医療・介護を提供し、地域に貢献し信頼される病院を目指します。」の下、引き続き地域に愛される病院づくりに精一杯努力しています。

一緒に働く元気あるみなさんの応募を、心よりお待ちしております！

7 二本松病院

老訪居地健

〒964-8501
福島県二本松市成田町1-553

TEL 0243-23-1231

[病床数] 160床
介護老人保健施設 100床
[宿舎] 無
[保育所] 無



アクセス/最寄駅

(電車) JR 東北本線 二本松駅下車 車5分
(バス) 二本松駅より 岳温泉行きバス7分 若宮二丁目下車
(高速道) 東北自動車道 二本松インターチェンジ下車すぐ隣

病院の特徴

当院は、二本松市の市街地に位し、JR 二本松駅から西方約1.5km、東北自動車道 二本松インターに隣接する場所にあります。

病床数は160床(3病棟)で、令和2年6月に地域包括ケア病棟(5階病棟56床)へ変更しています。院内には腎センター、二本松市の委託による産後ケアセンターを有するほか、「健康管理センター」「訪問看護ステーション・リハビリテーション」「附属介護老人保健施設」「地域包括支援センター」「居宅介護支援センター」を併設し、地域医療の中心的な医療機関としての役割を果たすため、予防活動から医療・介護・在宅支援までシームレスな連携を図り、機能の充実を図っています。

病院理念は「わたしたちは地域の皆様に安心を提供するため保健、医療、福祉の向上に努めます」とし、地域の皆さんが住み慣れた場所で安心して生活できる様、近隣市町村や保健所等の行政機関、医師会、大学病院や近隣病院・クリニックと連携し、職員一丸となって地域医療に取り組んでいます。

8 うつのみや病院

老 訪 居 地 健

〒321-0143
栃木県宇都宮市南高砂町 11-17

TEL 028-653-1001

[病床数] 199 床
介護老人保健施設 100 床
[宿 舎] 有 (7 室 (ワンルーム))
対象 / 全職種
[保育所] 無

アクセス / 最寄駅

JR 宇都宮線 (東北線)「雀宮駅」より徒歩約 20 分



病院の特徴

昭和 21 年に開設以来、一貫して宇都宮市南部地域の中核病院として機能しています。また二次救急指定病院、災害拠点病院、栃木県 D M A T 指定病院として地域の皆様の医療・保健と福祉の向上に努め、信頼・安心して利用できる病院を目指しています。急性期から回復期 (回復期リハ病棟・地域包括ケア病棟)、在宅までのシームレスな医療を提供しています。その他、健康管理センター、介護老人保健施設、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、訪問看護ステーションも併設しており、疾病予防とともに医療と福祉の連携を図っています。

今後も急速に進歩する医療レベルを積極的に取り入れつつ「高度な医療とこころの看護で地域にやすらぎと信頼を」をモットーに病院の基本理念「誠意・愛情・努力」を大切に、職員一丸となり良質な医療の提供をできるように努力しています。

9 群馬中央病院

老 居 地 健

〒371-0025
群馬県前橋市紅雲町 1-7-13

TEL 027-221-8165

[病床数] 333 床
介護老人保健施設 80 床
[宿 舎] 無
[保育所] 有

アクセス / 最寄駅

JR 両毛線「前橋駅」よりタクシー約 5 分
JR 上越線「新前橋駅」よりタクシー約 5 分



病院の特徴

小児科、産婦人科は地域周産期母子医療センターを有し、ハイリスク妊娠・出産に対応しており、24 時間母体搬送を受け入れており、2023 年 10 月には NICU (6 床) を開設しました。また、整形外科の人工膝関節置換術は全国でも有数の手術件数です。消化器内視鏡検査・治療や眼科の手術も群馬県の地域医療支援病院では最も多く施行しています。

2017 年に開設した糖尿病センターでは地域連携バスを活用して、当院への通院を最小限とし、地域の他病院に日常診療をお願いするといった地域の医療機関との連携強化を図っています。増え続ける糖尿病に対する地域の対応として、模範的な取り組みと自負しています。

10 さいたま北部医療センター

訪 居 健

〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町 1-851

TEL 048-663-1671

[病床数] 163 床
[宿 舎] 無
[保育所] 無

アクセス / 最寄駅

ニューシャトル「加茂宮駅」より徒歩 7 分
JR 宇都宮線「土呂駅」より徒歩 17 分



病院の特徴

2019 年 3 月に公共施設・商業施設・住宅街からなる複合市街地の一角に移転し、さいたま市北区における唯一の公的医療機関として、地域医療を提供しています。

医療機器に関しては、最新型の CT (64 列)、MRI (3.0 テスラ)、血管造影装置を導入し、日々、医療水準の向上に努めています。また、透析治療にも力をいれており、最大 22 床入るスペースを確保しています。

看護部においては、誠実で確かな看護ケア・思いやりのある温かな看護ケアが実践できる人材育成に取り組んでいます。また、健康管理センター・一般急性期病棟・地域包括ケア・訪問看護ステーションを有し、予防から急性期から在宅へとシームレスな看護を提供しています。

11 埼玉メディカルセンター

老 訪 居 地 健

〒330-0074
埼玉県さいたま市浦和区北浦和 4-9-3

TEL 048-832-4951

[病床数] 395 床
介護老人保健施設 100 床
[宿 舎] 有 (50 室 (ワンルーム))
対象 / 全職種 (看護職優先)
[保育所] 有

アクセス / 最寄駅

JR 京浜東北線「北浦和駅」西口より徒歩 3 分



病院の特徴

昭和 23 年に開設以来、地域の皆さんに安らぎと信頼をモットーに約 70 年にわたり医療を提供してきました。診療科目は 29 科あり、病棟は「急性期病棟 335 床」「HCU 14 床」「地域包括ケア病棟 46 床」を有し、それ以外にも「健康管理センター」「介護老人保健施設」「居宅介護支援事業所」「地域包括支援センター」「訪問看護ステーション」も併設しております。診療及び治療はもとより、予防、介護サービスも提供しています。駅からのアクセスも良く、最寄り駅から徒歩 3 分であり、非常に利便性の良い病院となっています。また、「地域医療支援病院」の承認も受け、院内において「認知症初期支援チーム」や「院内感染対策チーム」、「褥瘡対策チーム」といったチーム医療を実践し、近隣の病院、診療所、歯科医とも連携強化に取り組んでいます。

12 千葉病院

老 訪 居 健

〒260-8710
千葉県千葉市中央区仁戸名町 682

TEL 043-261-2211

[病床数] 160 床
介護老人保健施設 100 床
[宿 舎] 有 46 室 (ワンルーム)
対象/全職種 (看護職優先)
[保育所] 有

アクセス/最寄駅

JR 総武本線「千葉駅」よりバス「ジェイコー千葉病院前」下車 (所要時間 25 分)
JR 内房線/外房線/京葉線「蘇我駅」よりバス「ジェイコー千葉病院前」
下車 (所要時間 15 分)
JR 外房線「鎌取駅」よりバス「ジェイコー千葉病院前」下車 (所要時間 15 分)



病院の特徴

当院は、千葉市中央区にあり、当地に開院してから 50 年以上が経ち、世代を超えて長く通院して下さる患者さんが多くいます。令和 6 年 3 月に新病院での運用が始まりました。新病院は、急性期病棟 104 床、地域包括ケア病棟 52 床、HCU 4 床となっております。また、腎センター 72 床が稼働しており、合併症を持つ患者さんを千葉県全域及び近隣都県から受け入れ透析治療と二次的健康被害を治療できる施設として、地域で重要な役割を果たしています。その他併設の、健康管理センターや介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどの強みを活かし、切れ目ない医療・看護・福祉の提供を目指していきます。

13 船橋中央病院

訪 健

〒273-8556
千葉県船橋市海神 6-13-10

TEL 047-433-2111

[病床数] 399 床
[宿 舎] 有 (50 室)
対象/医師・臨床研修医・看護職・コメディカル (要相談)
[保育所] 有

アクセス/最寄駅

京成本線「海神駅」より徒歩 7 分
JR 総武線/武蔵野線/京葉線/東京メトロ東西線/
東葉高速鉄道「西船橋駅」より徒歩 13 分
バス「船橋中央病院前」下車 (所要時間約 1 分)



病院の特徴

当院は東京近郊に位置する地方都市の中核病院です。病院理念は、「職能と倫理の追及 (正しい医療)・良質な医療の提供 (良い医療)・誠心誠意の接遇 (優しい医療)」です。周産期母子医療センター・健康管理センター・内視鏡センター・訪問看護ステーションを併設し、最先端医療と地域医療の両面から頼られる病院を目指しています。また、「障害なき生存」「家族の始まりを支える」周産期母子医療センターから「住み慣れたご自宅での最後を支える」訪問看護まで、人生の全ての「時」を支えたいと頑張っています。

また NST・ICT・認知症ケアチームなど病院で働く全ての職種がお互いの専門性を尊重し協働して患者さんとご家族に寄り添った医療の提供に尽力しています。また多職種でのカンファレンスも充実しています。

14 東京高輪病院

訪 健

〒108-8606
東京都港区高輪 3-10-11

TEL 03-3443-9191

[病床数] 247 床
[宿 舎] 有 (64 室 (ワンルーム))
対象/看護師優先

[保育所] 無

アクセス/最寄駅

JR 東海道本線/山手線/京浜東北線/京浜急行線「品川駅」
より徒歩 10 分
都営浅草線「高輪台駅」より徒歩 3 分



病院の特徴

当院は交通の要衝である品川駅から最も近い公的な総合病院です。急性期医療と回復期医療 (地域包括ケア病棟) の 2 つの機能をもっており、地域のクリニックはもとより急性期病院とも密接に連携して診療を行っています。

東京都二次救急指定医療機関として、24 時間 365 日救急患者を受け入れており、多職種からなる「医療連携・患者支援センター」が病院の要となり、円滑に地域の医療機関との連携が行われています。また、在宅療養生活を支援するために「訪問看護ステーション」を、疾病の早期発見と予防のために「健康管理センター」を病院内に併設しています。

当院は羽田空港や成田空港からアクセスが良く、周囲には大使館や質の高いホテルが多いため外国人が受診する機会が多くあります。そのため、外国人対応を専門とする部署として「国際部」を設置し、外国人も安心して受診できる体制を整備しており特徴の一つとなっています。

このように、当院は病気の予防・早期発見から急性期治療、回復期治療、在宅療養に至るまでシームレスに医療を提供することにより、安心して暮らせる地域作りにも貢献しています。

15 東京新宿メディカルセンター

訪 学 健

〒162-8543
東京都新宿区津久戸町 5-1

TEL 03-3269-8111

[病床数] 520 床
[宿 舎] 有
対象/医師・看護職
(世帯用 (医師のみ) 45 室 (3LDK))
(単身用 (医師・看護職) 188 室ワンルーム)

[保育所] 無 (提携保育所 有)

アクセス/最寄駅

JR 総武線 (中央線各駅停車)「飯田橋駅」東口より徒歩 5 分
東京メトロ東西線/有楽町線/南北線「飯田橋駅」B1 出口より徒歩 4 分
都営大江戸線「飯田橋駅」C1 出口より徒歩 3 分



病院の特徴

当院は JR の他、地下鉄大江戸線・東西線・有楽町線・南北線が乗り入れる飯田橋駅に近く、近隣には外国人にも人気の高い観光スポット神楽坂があり、都心にあつて情緒あふれる環境に恵まれています。

大病院が集中する地域で独自の医療を展開する点で、例えばがん診療では手術・化学療法・放射線療法 (IMRT 有り) に対応、都会では希少な緩和ケア病床を有しています。また、平成 30 年 10 月にロボット手術 (ダヴィンチ) を導入しました。脳卒中に対しては脳外・血管内治療科・脳神経内科が対応、整形外科領域では脊椎外科も併設しリハビリも充実しています。各分野でチーム医療が活発に展開され、一病院完結型のシームレスな医療を提供しうる当院で、新時代の医療を担うプロフェッショナルとして存分に活躍されることを期待します。また、令和元年 8 月に地域医療支援病院の承認も受け、地域の医療機関の先生方との堅固な連携のもと、それぞれの役割を尊重しながら、当院が持つ診療・病床機能を存分に発揮して参ります。

16 東京山手メディカルセンター

健

〒169-0073
東京都新宿区百人町 3-22-1

TEL 03-3364-0251

[病床数] 418 床
[宿 舎] 有 (145 室 (ワンルーム))
対象 / 臨床研修医・看護師
[保育所] 無

アクセス / 最寄駅

JR 山手線「新大久保駅」より徒歩 5 分
JR 中央線「大久保駅」より徒歩 7 分



病院の特徴

昭和 22 年に創立以来、新宿の地で地域医療の中核病院として患者さんと共に歩んでまいりました。

現在では、32 の診療科を整えた 418 床の急性期型の総合病院に成長し、いっそう充実した医療を展開しています。特に大腸肛門疾患と炎症性腸疾患は、全国的に知られ、治療成績も評価されており。各診療科は専門領域の充実をはかるとともに、診療科相互の連携を重視しています。患者さんが抱える専門的治療を要する疾患に留まらず、全身の合併症や患者さんご家族の心のケアを重視しつつ、全人的な総合診療を目指しています。患者さんの求める良質で安全な医療に応えるため、「患者さんからの笑顔を」を全職員のモットーとし、皆様に安心して快適な医療を受けていただけるように、温かいサービスと環境の整備に力を尽くし、地域医療に貢献していきたいと考えています。

17 東京城東病院

老 居 地 健

〒136-0071
東京都江東区亀戸 9-13-1

TEL 03-3685-1431

[病床数] 117 床
介護老人保健施設 100 床
[宿 舎] 有 (14 室 (1K バス・トイレ別))
対象 / 全職種
[保育所] 無

アクセス / 最寄駅

都営新宿線「東大島」より徒歩 10 分
JR 総武線「亀戸駅」東口「水神森」バス停から乗車「浅間神社」下車 徒歩 5 分
JR 総武線「平井駅」からバス乗車「小松川健康サポートセンター前」下車 徒歩 5 分



病院の特徴

当院は東京の区東部の下町「亀戸」に位置し、都営新宿線「東大島駅」総武線「亀戸駅」から程近い場所にあります。

地域からは「城東病院」として親しまれており、健康管理センター、介護老人保健施設、居宅支援事業所、地域包括支援センターを併設し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう訪問診療、訪問看護にも取り組み、予防から急性期、回復期、在宅までシームレスな医療・介護を提供しています。

診療科は、内科、外科、整形外科を中心に診療しており、一般急性期医療を行うとともに、地域包括ケア病棟を 2 病棟有し、急性期以降の患者や在宅で療養を行っている患者を積極的に受け入れ、患者の在宅復帰を支援しています。

これからも、地域の皆さまに安全で信頼される医療を提供できる病院であり続けるよう、職員一同一丸となって努めてまいります。

18 東京蒲田医療センター

健

〒144-0035
東京都大田区南蒲田 2-19-2

TEL 03-3738-8221

[病床数] 230 床
[宿 舎] 有 (40 室 (ワンルーム))
対象 / 臨床研修医、看護師
[保育所] 近隣保育所が目の前にあり

アクセス / 最寄駅

京浜急行線「京急蒲田駅」東口より徒歩 10 分



病院の特徴

東京都の東南部に位置する大田区にあり、羽田空港からほど近い蒲田地区で 60 年に渡り地域に密着して医療を提供している唯一の公的病院です。二次救急指定病院として急性期医療に力を入れるだけでなく、メタボリックシンドロームをはじめとする生活習慣病やがんの早期発見に努める健康管理センターと、診断治療を行う急性期病院が一体となった地域密着型医療を行っています。

さらに、地域包括ケアにも力を入れており、在宅療養後方支援病院としての機能を持つとともに地域包括ケア病棟、訪問看護室を有しています。

地域の方が住み慣れた場所で安心して生活できることを目指し、組織一丸となって取り組んでいます。

19 横浜中央病院

訪 健

〒231-8553
神奈川県横浜市中区山下町 268

TEL 045-641-1921

[病床数] 250 床
[宿 舎] 無
[保育所] 無

アクセス / 最寄駅

JR 根岸線「石川町駅」北口より徒歩 3 分



病院の特徴

当院は横浜市の二次応需体制（救急医療）へ参加しており、2つの大学病院から各科専門医の派遣を受けており、高い医療技術をすばやく提供するために救急処置を必要とする患者さんを受け入れ、総合的な初期対応を強化しています。

また、地域包括ケア病棟 50 床を有し、急性期後の患者さんの在宅復帰に向けた療養と在宅医療からの受入を強化しており、地域包括ケアシステムに寄与するため拠点病床の機能を有効に活用し、家庭医、訪問看護ステーション・介護施設と連携し地域住民の皆様の生活を支援しています。

特定行為看護師の育成にも力を入れており、地域のニーズに沿った対応を行っています。

各医療技術職は院内研修をはじめ、学会活動にも積極的に参加し、個人スキルの向上を図り、患者さんはもとより地域住民の皆様にも提供しています。

国際都市横浜にあり、外国人患者の来院も多いため通訳を配置し、外国人患者受入の環境整備に努め、国際都市に立地する医療機関として、国籍にとらわれない医療を提供しています。

20 横浜保土ヶ谷中央病院



〒240-8585
神奈川県横浜市保土ヶ谷区釜台町 43-1

TEL 045-331-1251

[病床数] 236 床
[宿 舎] 有
 (49 室 (世帯寮 9、単身寮 40))
[保育所] 有

アクセス/最寄駅

JR 線 / 東急東横線 / 京急本線 / 横浜市営地下鉄「横浜駅」より
バス「釜台住宅第 2」下車 (所要時間 20 分)
相鉄線「上星川駅」よりバス「横浜保土ヶ谷中央病院前」下車 (所要時間 5 分)
相鉄線「羽沢横浜国大駅」より徒歩約 15 分



病院の特徴

当院は横浜市西部に位置し、疾病予防（健診）から治療・リハビリテーション、在宅（訪問看護）に至るまで、一貫した良質な医療を提供することをモットーに、横浜市の二次救急医療体制への参加や、地域医療支援病院として地域の病診連携等を通じて、地域に密着した医療を提供しています。一般病床 236 床のうち、ハイケアユニットを 8 床、地域包括ケア病床を 31 床有し、高度急性期から慢性期まで対応しています。

また、中規模病院の特性を活かし、他職種協働による緩和ケアチームや糖尿病チーム等、互いの専門性を活かした組織横断的なチーム活動を推進しています。併せて、人工透析や各種専門外来の開設、MRI 等最新の医療機器の導入により医療水準の向上にも努め、めまぐるしい医療の変化や多様化する受診者のニーズへの対応も積極的に取り組んでいます。

これからも地域の皆様の医療・福祉の向上に貢献してまいります。

21 相模野病院



〒252-0206
神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-2-30

TEL 042-752-2025

[病床数] 212 床
[宿 舎] 有 (5 室 (ワンルーム))
 対象 / 全職種 (看護職優先)
[保育所] 有

アクセス/最寄駅

JR 横浜線「矢部駅」より徒歩 1 分



病院の特徴

当院は神奈川県北部に位置し、二次救急医療に対応した病院機能に健康管理センターを併設し幅広い医療を実践している病院です。また N I C U を備えた周産期母子医療センターは県央北相地区の中核病院として機能しています。さらに悪性疾患に対する化学療法や内視鏡治療・手術などの先端医療を安全に提供できるように多職種によるチーム医療の推進をしています。地域包括ケア病棟、訪問看護ステーションを有し、高齢化社会における医療にも対応しています。

「住み慣れた地域で生きる」人々を支える看護実践は看護師一人ひとりのやりがいにつながっています。「真実説明」を掲げ、患者家族に対し誠実な医療提供を重視し、全職員が責任をもった行動ができるような医療安全の体制を整備しています。患者や他医療従事者から求められ、かつ持続的に成長する病院を目指しています。

22 湯河原病院



〒259-0396
神奈川県足柄下郡湯河原町中央 2 丁目 21-6

TEL 0465-63-2211

[病床数] 150 床
[宿 舎] 有 (4 宿舎 (70 室))
 対象 / 全職種
[保育所] 有

アクセス/最寄駅

電車 JR 東海道本線「湯河原駅」下車
徒歩 「湯河原駅」より約 14 分
バス 「湯河原駅」より「鍛冶屋」行きに乗車
 「中央二丁目」バス停を下車→バス停より徒歩 3 分
タクシー 「湯河原駅」より約 5 分



病院の特徴

当院は昭和 21 年に湯河原整形外科療養所として開設し、以降これまで整形外科・リハビリテーション医学の専門病院として発展してきました。神奈川県西部に位置し年間を通して楽しむことが出来る温泉保養地で現在は一般病床 100 床 (うち、地域包括ケア病床 32 床) 回復期病床 50 床の計 150 床を有し、急性期から回復期、在宅復帰に向けて切れ目のない医療の提供を行っております。

また、併設して健康管理センターや介護事業として訪問看護ステーション、訪問リハビリ、訪問栄養指導を行っており、地域の保健・医療・福祉の方々と密接に連携し、医療・福祉サービスの提供を行っています。地域の病院として、今後も良質で信頼される医療を提供できるよう職員一同で取り組んでいます。

23 山梨病院



〒400-0025
山梨県甲府市朝日 3-11-16

TEL 055-252-8831

[病床数] 168 床
[宿 舎] 無
[保育所] 無

アクセス/最寄駅

JR 中央本線「甲府駅」北口より徒歩 15 分



病院の特徴

当院は甲府駅の北側に位置する一般急性期病床 126 床・地域包括ケア病床 42 床の 168 床を有する病院です。

外来診療では、消化器外科と消化器内科の連携を強化した『消化器病センター』や、乳腺外科と婦人科による「乳腺センター」を併設し、女性に配慮した『女性外来』などを大きな特色としています。

入院診療では、平成 27 年より地域包括ケア病棟を開設し、各分野の専門スタッフによるチーム医療により、適切な治療だけではなく、リハビリなどで QOL の向上を図ることで、安心して退院していただくことを目指しています。

また、健康管理センターを併設し、多くの県民の健康診断を実施し、がんや生活習慣病の早期発見、早期治療を目指しています。

保健指導も積極的に行い、病気となる手前の状態の方に、食習慣や運動習慣等の重要性を丁寧に指導しています。

「だれでも いつでも 気持ちよく 安心してかかれる病院」を理念とし、これからも地域医療のニーズに応じられる病院を目指していきます。

24 桜ヶ丘病院



〒424-8601
静岡県静岡市清水区桜が丘町 13-23

TEL 054-353-5311

[病床数] 199 床
[宿 舎] 無
[保育所] 無



アクセス/最寄駅

静岡鉄道 桜橋駅から徒歩 8 分（移転後は J R 清水駅東口）

病院の特徴

静岡県中部の静岡市に位置する一般病棟と地域包括ケア病棟を備えた 199 床の病院です。古くから清水地区の内科二次救急当番を月 20 日前後担っており、2021 年 4 月には静岡県立総合病院と地域医療を行うための地域医療連携推進法人「ふじのくに社会健康医療連合」の認定を受け、この枠組みを利用してお互いの病床の有効活用、人事交流、物品の共同利用など積極的に行い著しく成果を上げています。

また、附属施設に健康管理センターや訪問看護ステーションを併設しており、予防から救急医療、回復期、在宅まで幅広く地域のニーズに応えています。

2025 年 3 月には J R 清水駅東口に新病院「J C H O 清水さくら病院（仮称）」として開院します。主要駅に直結し、港湾道路沿いに立地することから患者さんの利便性が良く、さらに救急部門の拡充、災害に強い設備設計、最新の MRI 導入などハード面でも強化し、これまで以上に地域に貢献できるよう職員一丸となって取り組んでいます。

25 三島総合病院



〒411-0801
静岡県三島市谷田字藤久保 2276

TEL 055-975-3031

[病床数] 159 床
[宿 舎] 無
[保育所] 無



アクセス/最寄駅

JR 東海道本線「三島駅」下車

送迎マイクロバス（無料）「三島駅」北口より約 35 分

タクシー「三島駅」南口より約 20 分

伊豆箱根鉄道「三島田町駅」下車

シャトルバス（無料）約 15 分

タクシー 約 15 分

病院の特徴

当院は「地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献する」という JCHO の理念のもと、急性期医療から回復期医療まで幅広く対応している総合病院です。また、超高齢化が進む中、これまでの「病院完結型」の医療ではなく、地域の住民が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう附属施設及び地域医療機関との連携を強化し「地域完結型」の医療の推進に取り組んでいます。特に透析センターは、近隣唯一の入院加療を備えた存在であり、維持透析をはじめ腹膜透析の推進や腎臓リハビリテーションにも力を注ぎ高齢者を中心とした患者ニーズに対応しています。

予防医療においては、地域住民の健康維持のため生活習慣病予防健診を中心とした各種健診や保健師による特定保健指導を積極的に実施し、病气予防から早期発見に努めています。

三島総合病院は、常に患者さまとの心のふれあいを大切にし、良質で思いやりのある医療の提供に全力を尽くします。

本部

〒108-8583 東京都港区高輪 3-22-12
☎ 03-5791-8220
<https://www.jcho.go.jp>

JCHO 研修センター

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-5-10
☎ 03-6685-3680

東日本地区事務所

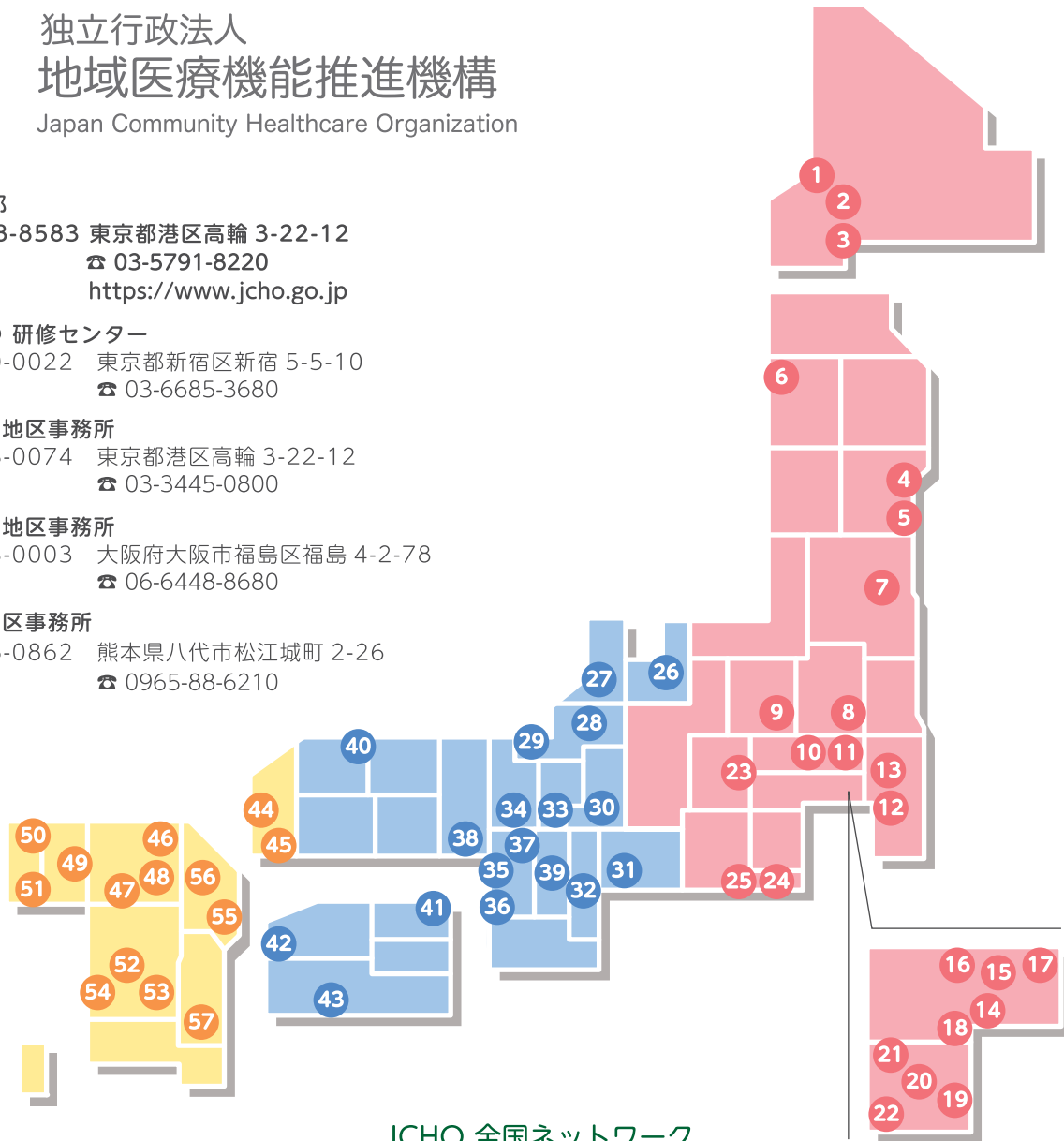
〒108-0074 東京都港区高輪 3-22-12
☎ 03-3445-0800

西日本地区事務所

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 4-2-78
☎ 06-6448-8680

九州地区事務所

〒866-0862 熊本県八代市松江城町 2-26
☎ 0965-88-6210



JCHO 全国ネットワーク

東日本地区

- | | | | |
|----------|-----------------|------------------|-----------|
| 1 北海道病院 | 8 うつのみや病院 | 15 東京新宿メディカルセンター | 22 湯河原病院 |
| 2 札幌北辰病院 | 9 群馬中央病院 | 16 東京山手メディカルセンター | 23 山梨病院 |
| 3 登別病院 | 10 さいたま北部医療センター | 17 東京城東病院 | 24 桜ヶ丘病院 |
| 4 仙台病院 | 11 埼玉メディカルセンター | 18 東京蒲田医療センター | 25 三島総合病院 |
| 5 仙台南病院 | 12 千葉病院 | 19 横浜中央病院 | |
| 6 秋田病院 | 13 船橋中央病院 | 20 横浜保土ヶ谷中央病院 | |
| 7 二本松病院 | 14 東京高輪病院 | 21 相模野病院 | |

西日本地区

- | | | | |
|-------------|----------------|--------------|-----------|
| 26 高岡ふしき病院 | 31 中京病院 | 36 大阪みなと中央病院 | 41 りつりん病院 |
| 27 金沢病院 | 32 四日市羽津医療センター | 37 星ヶ丘医療センター | 42 宇和島病院 |
| 28 福井勝山総合病院 | 33 滋賀病院 | 38 神戸中央病院 | 43 高知西病院 |
| 29 若狭高浜病院 | 34 京都鞍馬口医療センター | 39 大和郡山病院 | |
| 30 可児とうのう病院 | 35 大阪病院 | 40 玉造病院 | |

九州地区

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|-----------|
| 44 下関医療センター | 48 福岡ゆたか中央病院 | 52 熊本総合病院 | 56 湯布院病院 |
| 45 徳山中央病院 | 49 佐賀中部病院 | 53 人吉医療センター | 57 宮崎江南病院 |
| 46 九州病院 | 50 松浦中央病院 | 54 天草中央総合病院 | |
| 47 久留米総合病院 | 51 諫早総合病院 | 55 南海医療センター | |



JCHO

独立行政法人
地域医療機能推進機構

Japan Community Healthcare Organization

東日本地区事務所

〒108-0074 東京都港区高輪3-22-12

Tel 03-3445-0801 (医療課)

E-mail

iryuu@chikuhigashi.jcho.go.jp (医療職員)

kango@chikuhigashi.jcho.go.jp (看護職員)



JCHO 東日本

検索

